

週刊 タバコの正体



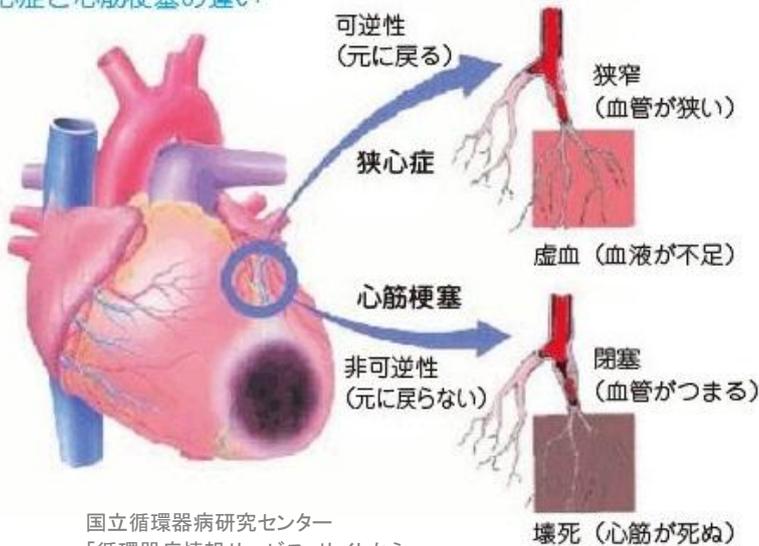
看護 roo!「虚血性疾患患者の特徴とケア」サイトから

タバコを吸い続けると血管がダメージを受け「動脈硬化」が進行し、血液の流れが悪くなります。そんな症状が心臓で発生すると左図にあるような症状が現れます。この病気は虚血性心疾患きょけつせいしんしんと呼ばれ、血管が狭くなりきょうさく血液が不足する場合と血管が詰まってへいそく(閉塞)血液が流れなくなる場合があります。

血液が不足きょけつ(虚血)するタイプを「狭心症」、血管が詰まるタイプを「心筋梗塞」と言います。狭心症は、胸の痛みやしめつけられる感じが出てもしばらくするとおさまるようですが、心筋梗塞が起こると血液が流れなくなった心臓の筋肉(心筋)が死んでしまうので、元の状態に戻らなくなります。

だから、心筋梗塞が疑われる場合は、一刻も早く処置してもらわないと死亡する確率が高くなるのは当然ですが、処置が遅れた分だけダメージは大きくなり後遺症が残ります。ある日突然、こんな状態に見舞われる事を想像すると恐ろしい限りです。こんな病気にはなりたくないですね。

狭心症と心筋梗塞の違い



国立循環器病研究センター「循環器病情報サービス」サイトから

心筋梗塞が起こるリスク (非喫煙者を1としたとき)



ファイザー「すぐ禁煙.jp」から

そこで、左図を見て下さい。タバコを吸わなければ、それだけで発症リスクは少なくなるのですから、わざわざ吸い始める必要はありません。

産業デザイン科
奥田 恭久